

今回は、むつ保健所で事務局を持つ「精神障がい者地域移行支援に関する茶話会（以下、「茶話会」）の活動について紹介をさせていただきます。

■茶話会とは？

茶話会は、むつ保健所が中心となって運営している、精神障がい者が住み慣れた地域で安心して生活できるようにサポートするための話し合いの場です。この活動の目的は、地域全体で精神障がい者を支える体制を作り、地域社会の中で誰もが自分らしく暮らせる環境を整えることです。

■どのような人が参加しているの？

茶話会には、精神科の医師や福祉施設のスタッフ、市町村の職員、相談支援の専門家、障がい者の就労支援を行う団体など、さまざまな立場の専門家が参加しています。年に1~2回ほど集まり、地域で精神障がい者を支援するために、どのような課題があるかを話し合います。

■茶話会で何を話し合うの？

茶話会では、精神障がい者が地域で生活していく上での問題点や、支援の方法について話し合います。たとえば、地域にどんなサポートが必要か、どうすれば障がい者が仕事や生活で困らないようにできるかなど、実際に困っていることに対して具体的な解決策を探ります。

■どんな活動が行われているの？

茶話会で話し合われた内容を基にして、「地域生活支援広域調整会議」という場で、課題解決に向けた具体的な支援や研修も行っています。これにより、地域全体で協力して、精神障がい者が地域で安心して生活できる環境づくりが進められています。

■茶話会の意義

このように、茶話会は、精神障がいを持つ方々が自分らしく生活できる地域社会をつくるために、多くの人々が協力して問題解決に取り組む大切な場です。専門家だけでなく、地域全体で支援の輪を広げ、誰もが安心して暮らせる社会を目指しています。茶話会の活動は、精神障がい者の生活を支える重要な役割を果たしており、地域全体の協力によってその支援の輪が広がっています。

■茶話会の取組紹介

★退院・対処に関する不安解消につながるよう、精神科医療機関長期入院患者向けリーフレットを作成(R3)



★地域移行に関する各機関の取組やノウハウを共有するため「取組事例集」を作成(R4)



しもきた活動紹介

在職者交流会

☆9月23日月曜日に今年度第2回目の在職者交流会を開催しました☆
会場は早掛レイクサイドヒル。午前中は「お給料の使い方について」の勉強会を行いました。家にお金を入れている人、自分の趣味に使っている人様々です。また「お金の使い方を改めて知った」「自分は無駄遣いが多いと感じた」など感想も聞かれました。
お昼はバーベキューを行い、食事をしながら参加者同士が交流を深めていました。



9月はおおみなと園で、3日間外部窓拭きの体験実習をしました。3人中2人の方が初参加でした。「大変だったけど、うまくやれた」など感想を聞くことが出来ました。施設側からは「暑い中丁寧に作業してくれました」とお声をいただきました。



9月10日はみちのく荘で、各1名ずつの方が3日間体験実習を行い、洗濯物畳み、車椅子掃除などを行いました。参加者からは「集中できてやりがいがあった」と感想が聞かれ、施設側からは「笑顔が良く明るい印象が伝わります」とお声をいただきました。



実習



福山通運では1名の方が10日間の職場体験を行いました。住所を確認しながら仕分け作業を正確に行っていました。参加者からは「指示をしっかりと聞いて動くことが出来た」企業側からは「自分の判断で仕事をしていた」と評価をいただきました。



企業見学



9月17日に横浜町にある、日本ホワイトファーム株式会社 東北事業所様のご協力のもと企業見学を行いました。

企業様からは事業所の概要、作業工程などご説明していただきました。参加された方の感想では、見学前は「緊張する」「楽しみ」見学後は「大きな製造ラインに圧倒された」「安全に気を配っている」「仕事の速さが印象に残っている」など沢山の感想が聞かれました。



お知らせ

この度、障がい者就業・生活支援センターに配属になりました、就業支援員の丸谷富士子と申します。皆さんのお力になれるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。



令和6年度

しもきた事業実績(10月末現在)

登録者数	200人
在職者	116人
今年度就職者	14件
相談支援件数	1460件